

エコアクション21

環境経営レポート

2023 年度

(2023 年 2 月 1 日～2024 年 1 月 31 日)



発行日：2024 年 4 月 1 日

サカタ理化学株式会社



環境経営方針

《基本理念》

当社は、理化学機器販売等の事業活動の中で、環境保全への取組が経営の重要課題であることを認識し、環境経営システムを構築・運用していくとともに、地球に優しい事業活動を第一と考え、社員一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組んでいきます。

また、私たちは大学・試験研究機関が行う低炭素化社会構築に向けた様々な研究について、システムの提案から導入までを行うことにより、研究活動を側面から支援し、社会貢献を行っていきます。

《行動指針》

- ☐ 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
- ☐ 環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

《具体的な取り組み》

- 営業車両運行に伴う二酸化炭素排出量 削減に努めます。
- 廃棄物の分別を徹底し、焼却ゴミの削減を目指します。
- 業務廃棄物を削減するとともにリサイクルを推進します。
- 節水対策として必要以上の水の使用を控えます。
- 有害化学物質を含む試薬類の適正管理を行います。
- 環境に配慮した製品の購入と販売に努めます。
- 低炭素化社会構築に向けた最新の情報を収集し提供します。

2023年2月1日



サカタ理化学株式会社

代表取締役 牧 剛史

2. 組織の概要と組織体系図

2-1. 事業所名及び代表者名

サカタ理化学株式会社 代表取締役 牧 剛史

2-2. 事業の概要

理化学器械・分析器械の販売業

2-3. 事業規模

資本金：2,020 万円 従業員数 21 名

床面積	本社・鶴岡営業所	212 m ²	山形営業所	298 m ²
	秋田営業所	50 m ²	仙台営業所	70 m ²

2-4. 所在地と連絡先

本社・鶴岡営業所

〒997-0010 鶴岡市余慶町 6 番 38 号
TEL:0235-24-6938 FAX:0235-23-6577

山形営業所

〒990-2251 山形市立谷川 2 丁目 938 番地 1
TEL:023-665-5166 FAX:023-665-5177

秋田営業所

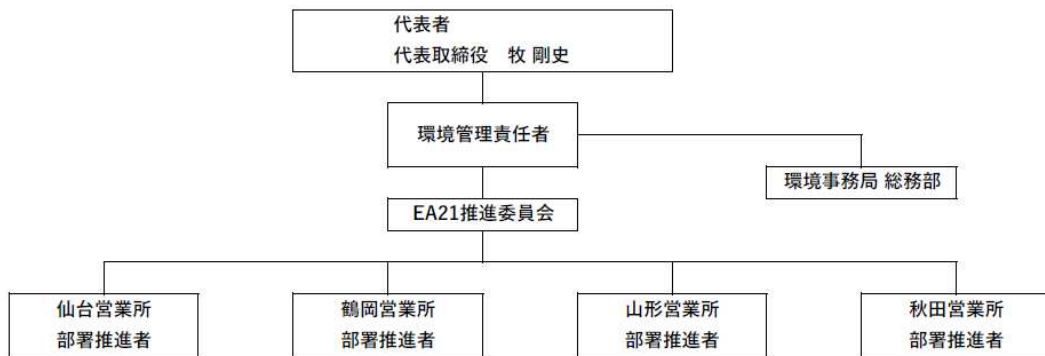
〒010-0942 秋田県秋田市川尻大川町 10 番 26 号
TEL:018-838-6151 FAX:018-838-6152

仙台営業所

〒981-3213 宮城県仙台市泉区南中山一丁目 27 番地 274
TEL 022-725-6971 FAX 022-725-6972

※危険物・薬品類の保管はありません。

環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 対象範囲と対象取組期間

3-1. 認証・登録範囲

全組織・全活動を対象とする。

3-2. 環境経営レポートの対象取組期間

2023 年 2 月 1 日～2024 年 1 月 31 日

4. 環境経営目標

4-1. 環境経営目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の 5 項目について、環境目標を設定しました。

- 1) 二酸化炭素排出量 2) 廃棄物排出量 3) 総排水量
4) グリーン購入の推進 5) 省エネ対応製品の販売促進 6) 会社周辺の清掃活動

※PRTR 法に該当する化学物質の使用はありません。

4-2. 主な環境負荷の実績

2023 年度（2023 年 2 月～2024 年 1 月）当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			廃棄物排出量 (t)		総排水量 (m ³) (水使用量)
電力 (係数 : 0.528)	灯油	ガソリン・軽油	一般廃棄物	産業廃棄物	
15,940	3,321	50,801	5.92	0.6	230

※電力の二酸化炭素換算係数は、2018 年度東北電力のものを使用しました。

4-3. 環境経営目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、グリーン購入、製品サービスに係る環境負荷の削減の EA21 必須項目沿って、

単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2023 年度 (2023.2～2024.1)	2019～2023 年度 (5 年間)
■二酸化炭素排出量	2018 年度同期比維持	2018 年度同期比維持
■廃棄物排出量	2018 年度同期比維持	2018 年度同期比維持
■総排水量 (水使用量)	2018 年度同期比現状維持	2018 年度同期比維持
■グリーン購入の推進	5 個	5 個
■省エネ対応製品の販売促進	セミナーや勉強会を各営業所で 年 5 回参加もしくは主催。	セミナーや勉強会を各営業所 で年 5 回参加もしくは主催。

4-4. 2023 年度（取組対象期間）環境経営目標値

4-3. の考え方に従って、2018 年度実績値を基に、2023 年度（2023.2～2024.1）の具体的目標値を下記のように設定しました。

	2018 年度実績 (2018.2～2019.1)	2023 年度目標 (2023.2～2024.1)
■二酸化炭素排出量 合計	88,515kg-CO ₂	88,515kg-CO ₂
1) 電 力	11,425kg-CO ₂	11,425kg-CO ₂
2) 灯油	4,384kg-CO ₂	4,384kg-CO ₂
3) ガソリン	63,650kg-CO ₂	63,650kg-CO ₂
■廃棄物排出量		
1) 一般廃棄物	4.65t	4.65t
2) 産業廃棄物	0.45t	0.45t
■総排水量（水使用量）	254m ³	254m ³
■グリーン購入の推進	5 個	5 個
■省エネ対応製品の販売促進	セミナーや勉強会を各営業所で年 5 回参加もしくは主催。	セミナーや勉強会を各営業所で年 5 回参加もしくは主催。

※リサイクル率とは、全廃棄物量に対する循環資源（再使用＋再生利用）の割合を言います。

※事務用品のグリーン化率は、グリーン購入ネットワーク（GPN）認定商品の割合を言います。

5. 主な環境経営計画

5-1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減

- ・室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする。
- ・クールビズとウォームビズの励行。
- ・電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する。
- ・昼休み等、不要な電力使用を控え、無駄な残業をしないよう効率的な業務を心掛ける。

2) 灯油使用量の削減

- ・事務所内の暖房については、業務に差し支えない程度に温度設定を下げる。
- ・暖房吹き出し口を作業者のいる方向に向け、効率よく暖房を行う。
- ・エアコンを併用し、環境負荷を抑える。

3) ガソリン使用量の削減

- ・車両日報により、走行距離、燃費などの整備状況を把握する。
- ・車両入れ替え時は、エコカーや燃費の良いハイブリッド車を優先して購入する。
- ・社内の会議なども Web 会議形式にすることで、移動時間の短縮、交通費などのコストの削減、コミュニケーションや情報共有の活性化を行う。

5-2. 廃棄物排出量の削減

- ・分別を徹底し、可能な限りリサイクルする。
- ・外部からのゴミはなるべく持ち込まない。
- ・両面コピーや縮小コピーの励行。
- ・カタログは完全配布を目指す。

5-3. 排水量（水使用量）の削減

水を出しっぱなしにしない。

6. 環境経営目標の実績（2023. 2～2024. 1）

対象取組期間における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

6-1. 二酸化炭素排出量

1) 全体（目標：2018 年度）

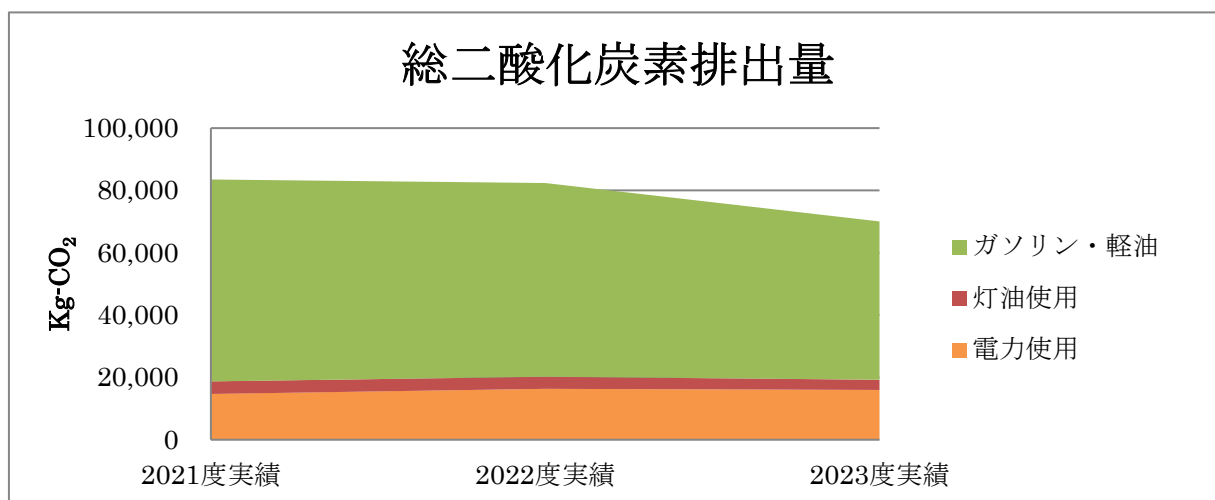
2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
82,362kg-CO ₂	88,515kg-CO ₂	70,062kg-CO ₂	△12,300kg-CO ₂	△17%	◎

【コメント】全体的に削減されているのは、人員減少の影響もあり

主にガソリンの使用量が減ったことが大きな要因と考えられる。

それだけ、ガソリンの使用量が弊社の割合を示していることが理解できる。

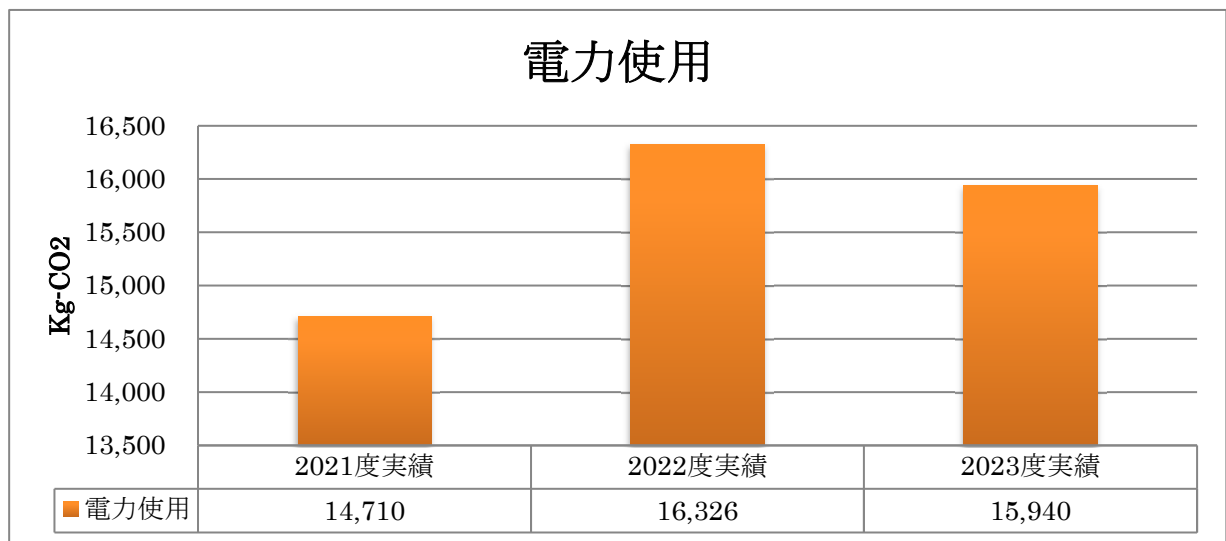
持続可能な範囲で活動できるよう継続していきたい。



2) 電力使用 (目標 : 2018 年度) ・ ・ ・ 2018 年度の排出係数 0.528

2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
16,326kg -CO ₂	11,425kg-CO ₂	15,940kg-CO ₂	△386kg-CO ₂	△2.4%	○

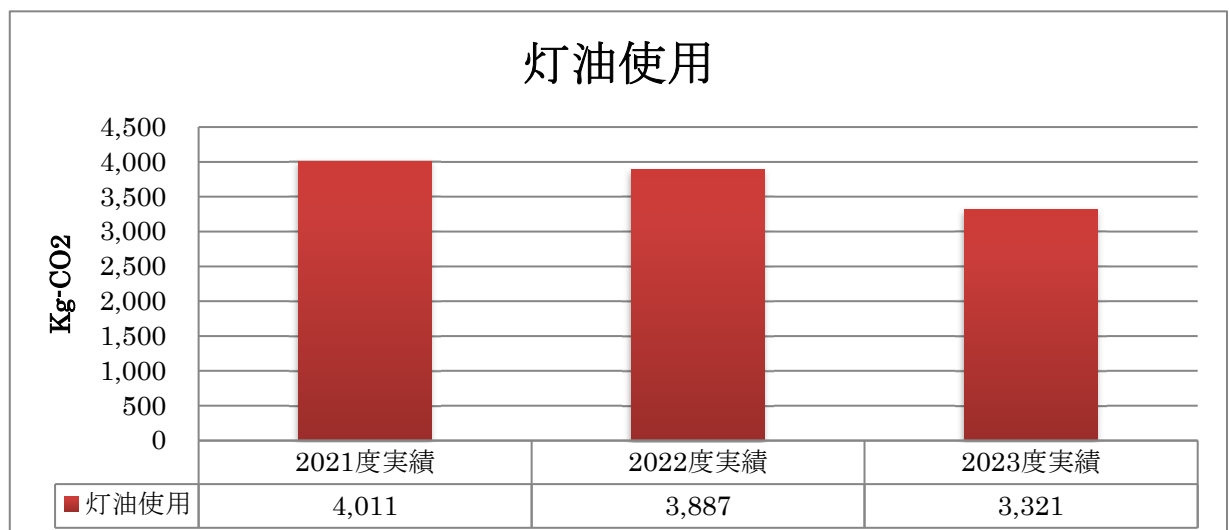
【コメント】 電気の使用量としては増加しているなかでも、日常生活において、
ひとりひとりが節電の意識がもって、電気を使用しているのも
昨年より削減できた。



3) 灯油使用 (目標 : 2018 年度) ・ ・ ・ 2018 年度の排出係数 2.49

2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
3,887g -CO ₂	4,384kg-CO ₂	3,321 kg-CO ₂	△566kg-CO ₂	△17%	◎

【コメント】 エアコンと併用していることと、温暖であったことも
灯油使用量の削減につながったと考えられる。

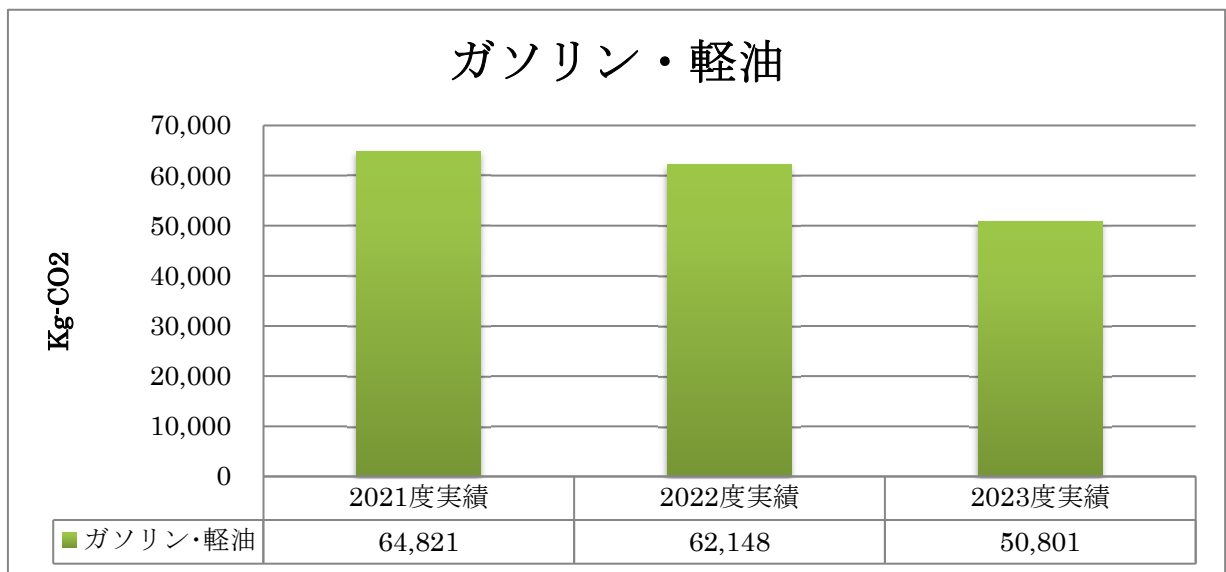


4) ガソリン・軽油使用 (目標 : 2018 年度)

・ 2018 年度の排出係数 ガソリン 2.32

2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
62,148kg-CO ₂	63,650kg-CO ₂	50,801kg-CO ₂	△11,347kg-CO ₂	22%	◎

【コメント】 人員の減少から営業車両の稼働も同時に減少したことが考えられる。



※1…削減量・削減率の欄において、△印は、プラス（削減）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

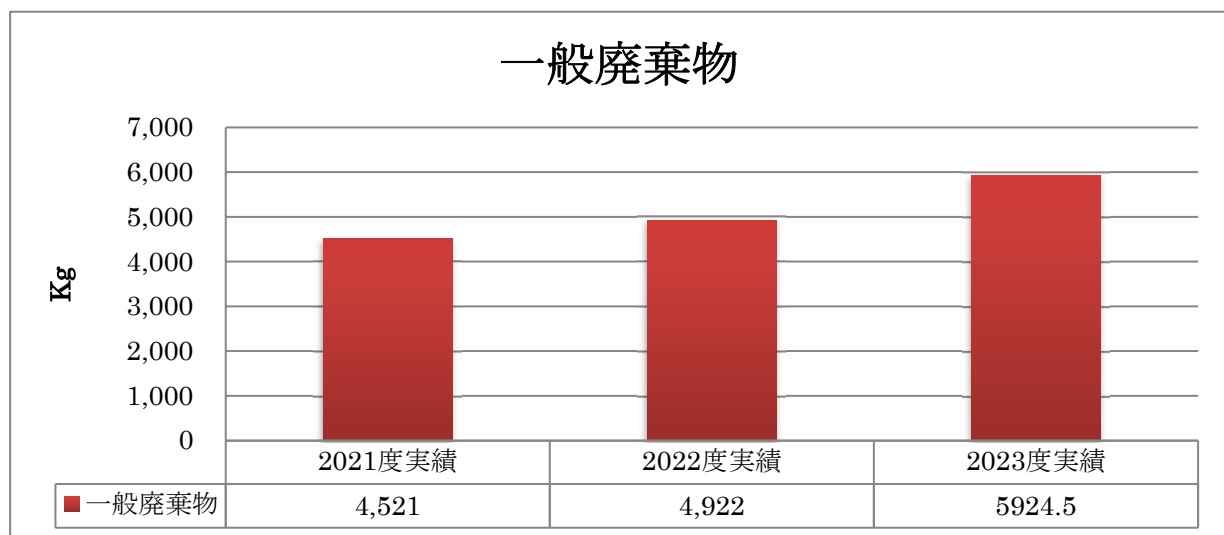
6-2. 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物 (目標 : 分別の徹底と現状維持)

100%リサイクルされています。

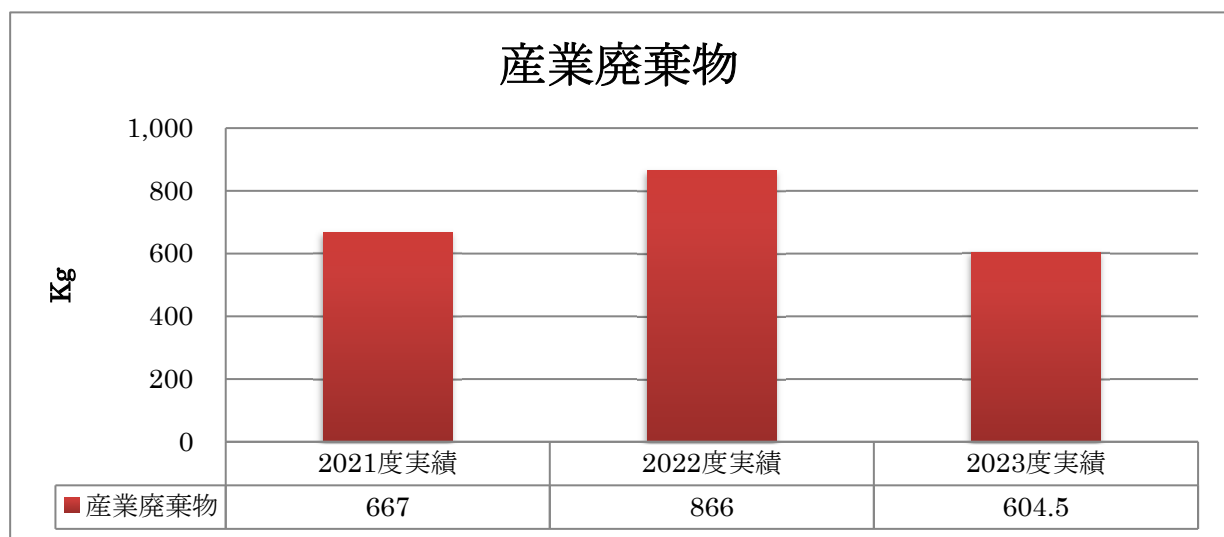
2) 産業廃棄物 (目標 : 分別の徹底と現状維持)

産業廃棄物に関しては、固形燃料やプラスチックなどにリサイクルされています。



2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
4922 kg	4650 kg	5924.5 kg	▲1002.5 kg	▲16.9%	×

【コメント】削減の意識をもって日々、対応しているが、社内美化における整理整頓に排出される一般廃棄物が増加したと考えられる。



2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
667 kg	450 kg	604.5 kg	△62.5 kg	△10.3%	○

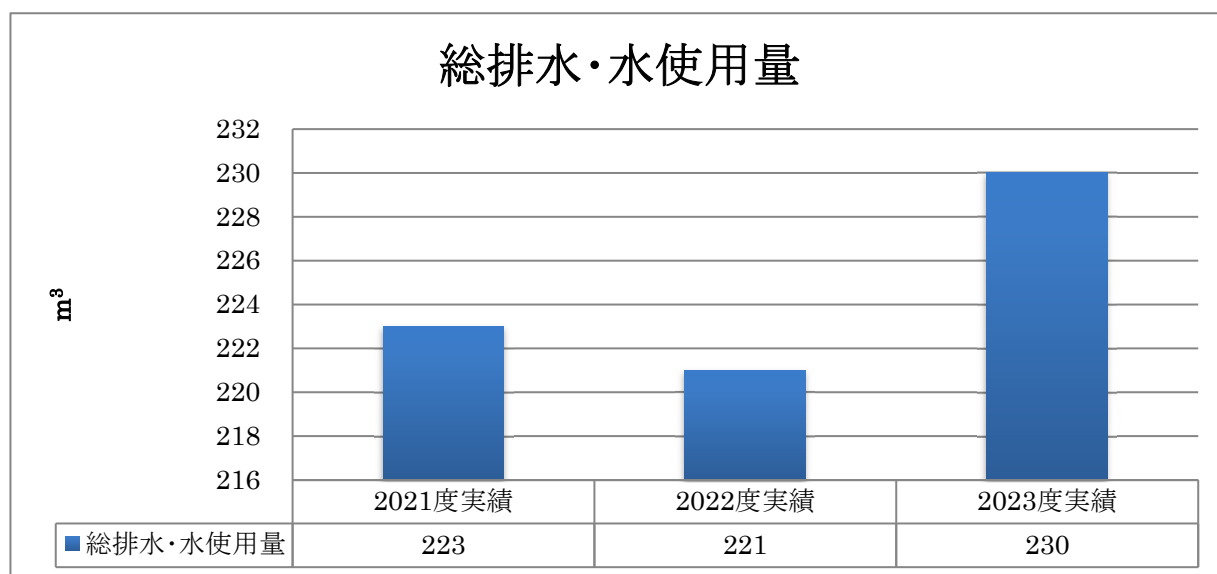
【コメント】仕入の際の輸送箱等が、リサイクルできるものになってきていると考えられる。

6-3. 総排水量・水使用量（目標：前年度の維持）

2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
221m ³	254m ³	230m ³	▲9m ³	▲3.9%	×

【コメント】日頃から節水の意識を持って行動している。

美化活動として、営業車輛の洗車を呼びかけているので
その分、使用量が増加したと考えられるが、必要なことなので
目標設定の見直しを検討する。



6-4. 省エネ対応製品の販売促進

2022 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	評価※2
セミナーや勉強会を各営業所で年 5 回参加もしくは主催出来た。	セミナーや勉強会を各営業所で年 5 回参加もしくは主催。	セミナーや勉強会を各営業所で年 5 回参加もしくは主催出来た。	◎

【コメント】弊社で販売強化するべきノンフロンの冷蔵庫やフリーザー並びに省電力のオープンクリーンシステムを提案する活動を展開しています。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

6-5. 会社及び周辺の清掃活動



各営業所で年に2回、地域貢献、ボランティア活動の一環として会社及び周辺の清掃活動と環境整備を行っています。



薬品保管場所と営業車輛に常備している薬品漏洩対策キット使って、瓶が破損し薬品が漏洩した場合の緊急事態の備えて訓練を毎年行っています。



災害時に備えて、各営業所で決められた避難経路の確認と発電機の使用方法についての講習を定期的に行っています。

7. 環境経営計画の取組結果の評価

ならびに次年度の環境経営目標・計画

7-1. 環境経営計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） —…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	■室内温度は、冷房 28℃、暖房時 20℃の設定とする	△
		■電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する	△
		■昼休み等、不要な照明を消灯する	○
		■席を離れるときは、PC をスタンバイモード、外出時はシャットオフ	○
	灯油使用量の削減	■事務所内の暖房については、業務に差し支えない程度に温度設定を下げる	△
		■暖房吹き出し口を作業者のいる方向に向け、効率よく暖房を行う	△
	ガソリン・軽油使用量の削減	■毎月エコドライブアンケートの実施	○
		■車両日報により、走行距離、燃費、オイル交換、空気圧などの整備状況を把握する	○
		■車両入れ替え時は、エコカーや燃費の良い新型プロボックスを優先して 購入する	○
廃棄物排出量の削減		■分別を徹底し、可能な限りリサイクルする	○
		■外部からのゴミはなるべく持ち込まない	△
		■両面コピーや縮小コピーの励行	△
排水量（水使用量）の削減		■漏水チェック	△
		■蛇口への節水コマの取り付けや元バルブの調整	△
グリーン購入の推進		■事務用品の GNP 対応商品のリストアップ	—
		■発注時の確認	—
		■名刺の用紙を再生紙にする。	○
省エネ対応製品のシステム提案		■お客様へ省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案	○
会社周辺の清掃活動		■年に 2 回以上、会社及び周辺の清掃活動や環境整備を行う。	○



7-2. 2024 年度 環境経営目標

	本社・鶴岡営業所 目 標
	2024 年度（2024.2～2025.1）
■二酸化炭素排出量	2023 年度同期比現状維持
■廃棄物排出量	2023 年度同期比現状維持
■総排水量（水使用量）	2023 年度同期比現状維持
■グリーン購入の推進	5 個
■環境負荷削減に関する目標	高効率設備や省エネ支援機器、システムの知識を幅広く取り入れてお客様に提案するために営業所発信で関連するセミナーや勉強会を年間 5 回以上出席するか催す。

	山形営業所 目 標
	2024 年度（2024.2～2025.1）
■二酸化炭素排出量	2023 年度同期比現状維持
■廃棄物排出量	2023 年度同期比現状維持
■総排水量（水使用量）	2023 年度同期比現状維持
■グリーン購入の推進	5 個
■環境負荷削減に関する目標	高効率設備や省エネ支援機器、システムの知識を幅広く取り入れてお客様に提案するために営業所発信で関連するセミナーや勉強会を年間 5 回以上出席するか催す。

	秋田営業所 目 標
	2024 年度（2024.2～2025.1）
■二酸化炭素排出量	2023 年度同期比現状維持
■廃棄物排出量	2023 年度同期比現状維持
■総排水量（水使用量）	2023 年度同期比現状維持
■グリーン購入の推進	5 個
■環境負荷削減に関する目標	高効率設備や省エネ支援機器、システムの知識を幅広く取り入れてお客様に提案するために営業所発信で関連するセミナーや勉強会を年間 5 回以上出席するか催す。

	仙台営業所 目 標
	2024 年度（2024.2～2025.1）
■二酸化炭素排出量	2023 年度同期比現状維持
■廃棄物排出量	2023 年度同期比現状維持
■総排水量（水使用量）	2023 年度同期比現状維持
■グリーン購入の推進	2023 年度同期比現状維持
■環境負荷削減に関する目標	5 個
	高効率設備や省エネ支援機器、システムの知識を幅広く取り入れてお客様に提案するために営業所発信で関連するセミナーや勉強会を年間 5 回以上出席するか催す。

7-3. 2024 年度 環境経営計画

2023 年度の『5. 主な環境経営計画』と同じ内容で取り組みます。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2023 年 3 月 1 日付で、法令遵守状況を下記の通り確認しました。

・ 廃棄物処理法

遵守状況に問題はありませんでした。

・ リサイクル法

遵守状況に問題はありませんでした。

・ 劇物及び毒物取締法

紛失防止処置等の要求事項に問題はありませんでした。事故等の発生もありません。

・ 危険物の記載に関する法令

保管に関しては、消防法に定める指定数量以下で該当しませんでした。

事故等もありませんでした。

環境面での関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは外部からの訴訟については、会社創立以来一度もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

9-1. 環境経営システムの有効性の評価

事業活動を通じ、より環境負荷の少ない商品や省エネ製品をお客様に提案しております。
特に、お客様がサンプルの保管で使用される薬用冷蔵庫やフリーザーについては、従来製品ではなく、環境への配慮したノンフロン製の製品をPRし販売に努めて参りました。
また、間接的にはなりますが、今までより仕入先からのカタログ部数を削減いたしました。
社員の皆様と経営側の両面から考えを尊重し、知恵を出し合い、環境への自覚を持って努力することが重要であると考えます。

9-2. 環境経営システム変更の必要性

現段階で、環境方針、環境経営目標、環境経営計画等、システムの主要部分について、大きな変更の必要はないと考えております。
しかしながら、システムの導入によりペーパーレス化や省エネに対して、より一層取り組んで参りたいと考えております。

9-3. 次年度以降の取組の方向性

お客様、取引先、社内間の年賀状廃止
電子請求書による紙の削減・封筒・切手の削減
仕入先からの電子データでの見積・納品・請求依頼
その他、最低限のカタログ依頼など、積極的に取り組んでいくことで、より付加価値の高い社会貢献ができるよう柔軟な発想を展開して参ります。

この環境活動レポートはご希望の方に差し上げております。

ご希望の方は、本社窓口へお申し出いただくか、下記までご連絡下さい。

また、エコアクション21 認証取得後は、エコアクション21 中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。



サカタ理化学株式会社

E-mail: INTO@sakata-rikagaku.co.jp

■ 本社・鶴岡営業所

〒997-0010 鶴岡市余慶町6番38号

TEL:0235-24-6938 FAX:0235-23-6577

■ 山形営業所

〒990-2251 山形市立谷川2丁目938番地1

TEL:023-665-5166 FAX:023-665-5177

■ 秋田営業所

〒010-0942 秋田市川尻大川町10番26号

TEL:018-838-6151 FAX:018-838-6152

■ 仙台営業所

〒981-3213 仙台市泉区南中山一丁目27番地274 TEL 022-725-6971 FAX 022-725-6972

